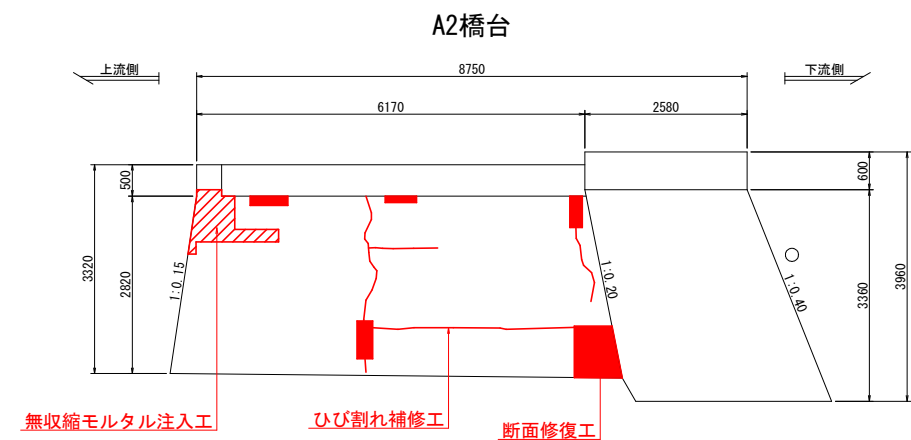
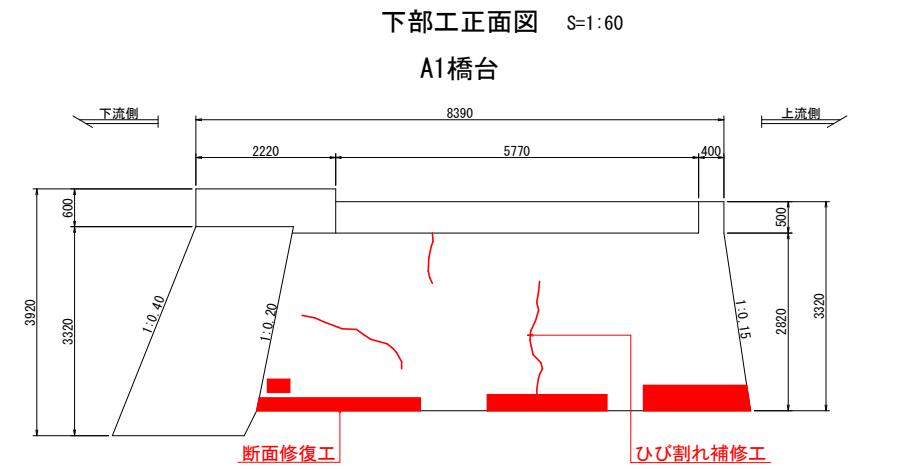
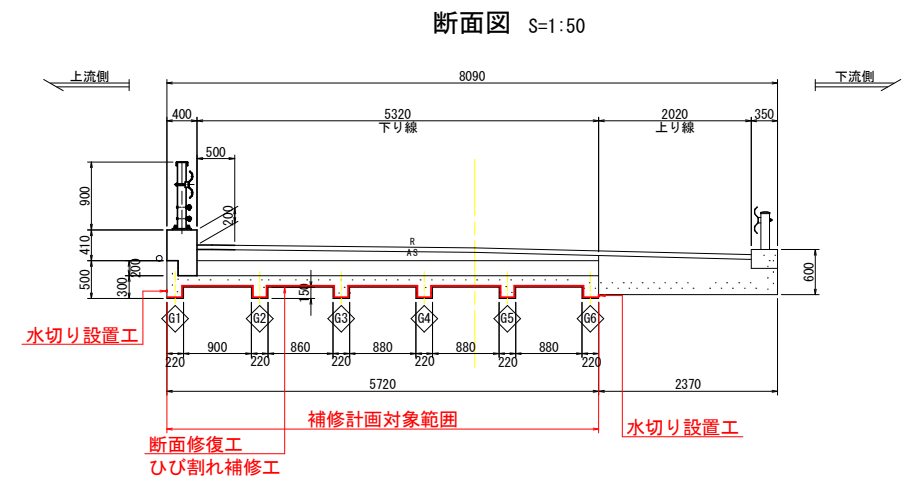
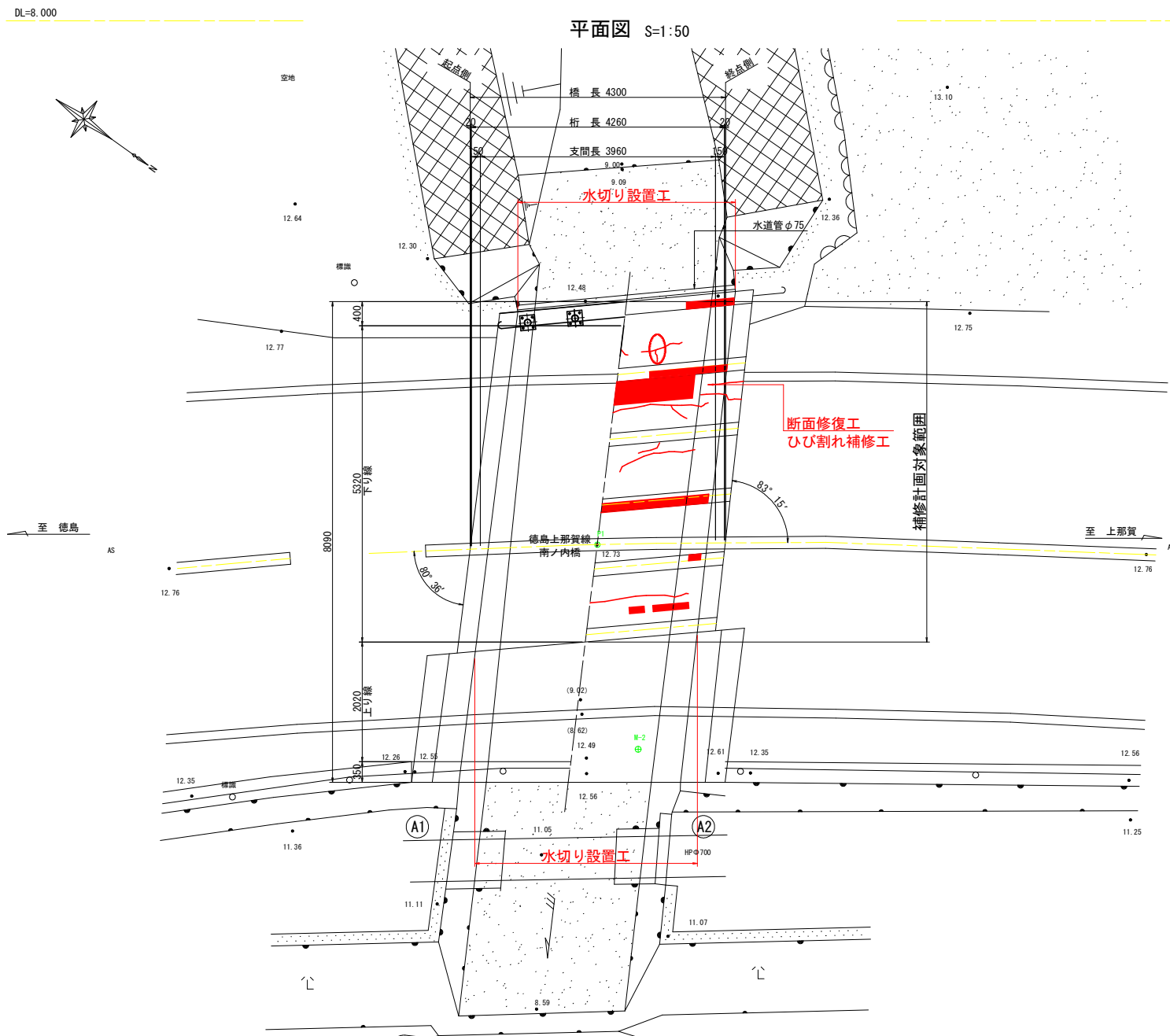
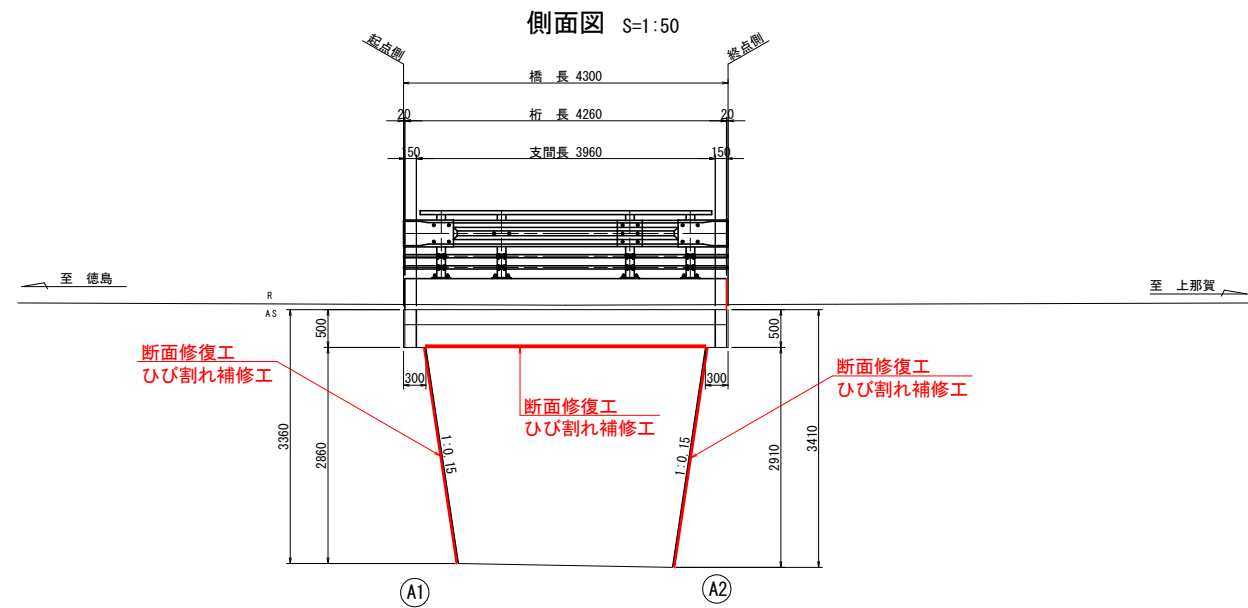


南ノ内橋(下り線) 補修計画一般図



南ノ内橋(下り線) 補修工事内容一覧

工 種	仕 様
断面修復工	ポリマーセメントモルタル
ひび割れ補修工	エポキシ樹脂低圧注入
無収縮モルタル注工	無収縮モルタル
水切設置工	あと施工型(軟質PVC)

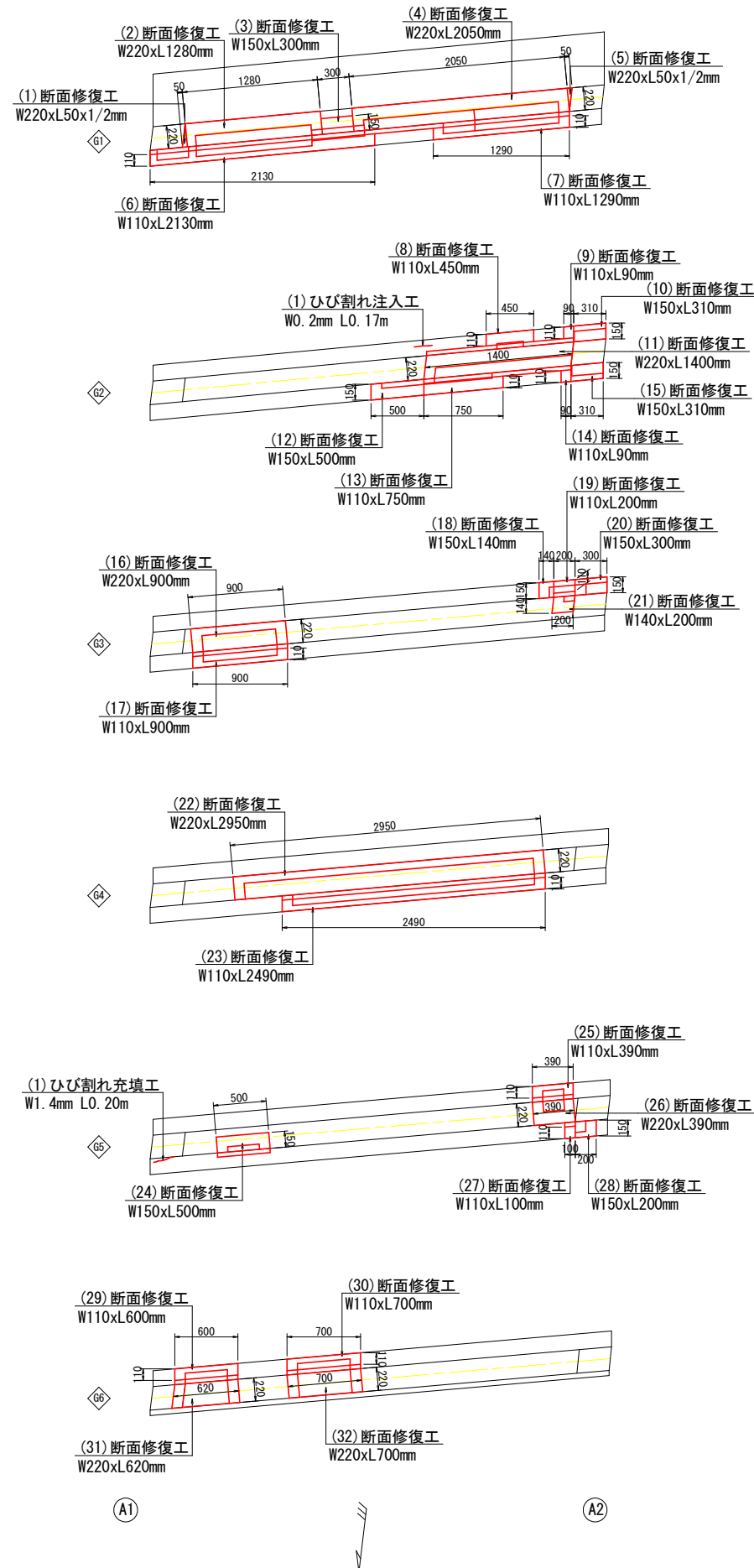
注記)

1. 施工前に調査を実施し、施工範囲及び施工数量について協議を行うこと。
2. 寸法は、現場実測後決定する。

【実施設計図面】

工 事 名	R 8 徳土 徳島上那賀線（南／内橋） 徳・飯谷 橋梁修繕工事		
路線名等	徳島上那賀線		
工事箇所	徳島市飯谷町（南／内橋）		
図 面 名	南／内橋（下り線）補修計画一般図		
縮 尺	図示	図面番号	1 / 6
年 度	令和 8 年度		
事業者名	徳島県土木整備事務所		

主桁 補修図 S=1:30
展開図



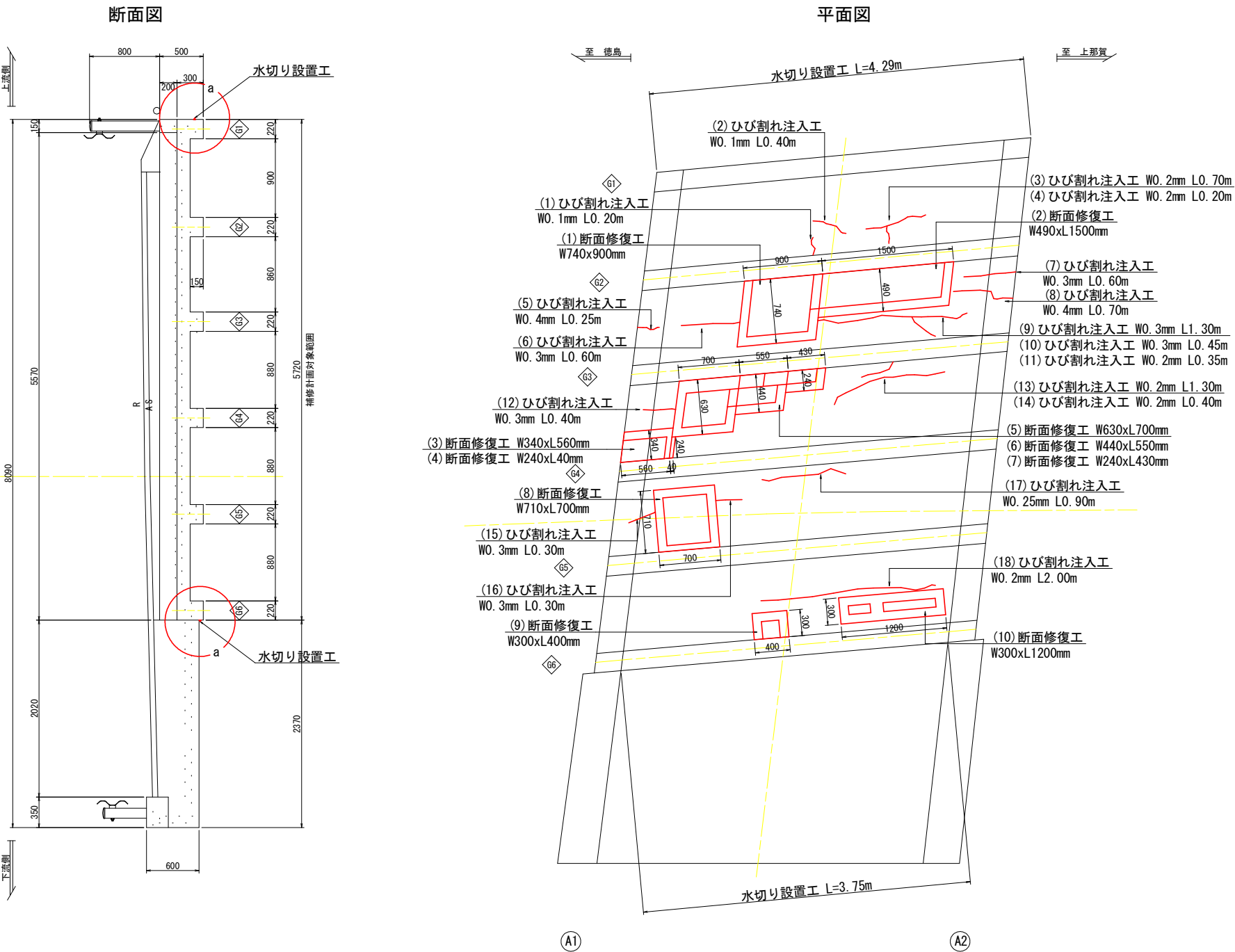
※は、 $A = \text{幅} \times \text{長さ} \times 1/2$

番号	幅(mm)	長さ(m)	充填量(kg/m3)	備考
(1)	1.4	0.20	0.030	G5主桁側面
		合計	0.030	

【実施設計図面】			
工 事 名	R 8 徳土 徳島上那賀線（南ノ内橋） 徳・飯谷 橋梁修繕工事		
路線名等	徳島上那賀線		
工事箇所	徳島市飯谷町（南ノ内橋）		
図 面 名	南ノ内橋(下り線) 補修工詳細図 (1/5)		
縮 尺	S=1:30	図面番号	2 / 6
年 度	令和 8 年度		
事業者名	徳島県土木整備事務所		

南ノ内橋(下り線) 補修工詳細図(2/5)

床版下面 補修工 S=1:30



断面修復工(左官工法)

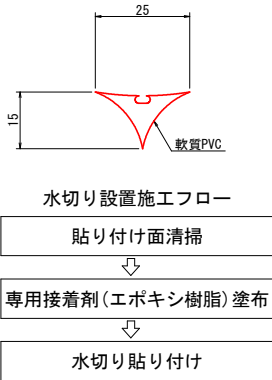
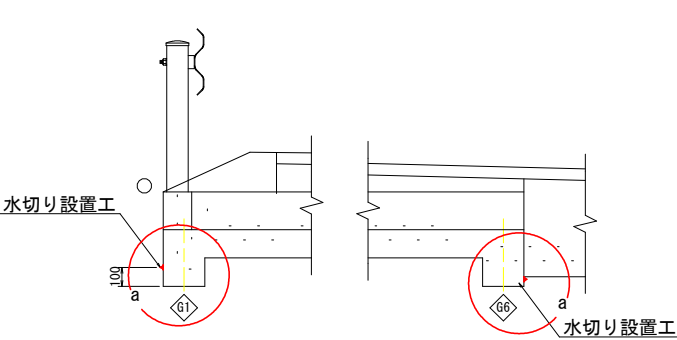
番号	幅(m)	長さ(m)	厚さ(m)	数量(m3)	備考
(1)	0.74	0.90	0.04	0.027	床版02
(2)	0.49	1.50	0.04	0.029	〃
(3)	0.34	0.56	0.04	0.008	床版03
(4)	0.24	0.04	0.04	0.001	〃
(5)	0.63	0.70	0.04	0.018	〃
(6)	0.44	0.55	0.04	0.010	〃
(7)	0.24	0.43	0.04	0.004	〃
(8)	0.71	0.70	0.04	0.020	床版04
(9)	0.30	0.40	0.04	0.005	床版05
(10)	0.30	1.20	0.04	0.014	〃
			合計	0.136	

ひび割れ補修工(低圧注入工法)

番号	幅(mm)	長さ(m)	深さ(m)	注入量(kg)	備考
(1)	0.10	0.20	0.05	0.001	床版01
(2)	0.10	0.40	0.05	0.002	〃
(3)	0.20	0.70	0.05	0.008	〃
(4)	0.20	0.20	0.05	0.002	〃
(5)	0.40	0.25	0.05	0.006	床版02
(6)	0.30	0.60	0.05	0.011	〃
(7)	0.30	0.60	0.05	0.011	〃
(8)	0.40	0.70	0.05	0.017	〃
(9)	0.30	1.30	0.05	0.023	〃
(10)	0.30	0.45	0.05	0.008	〃
(11)	0.20	0.35	0.05	0.004	〃
(12)	0.30	0.40	0.05	0.007	床版03
(13)	0.20	1.30	0.05	0.016	〃
(14)	0.20	0.40	0.05	0.005	〃
(15)	0.30	0.30	0.05	0.005	床版04
(16)	0.30	0.30	0.05	0.005	〃
(17)	0.25	0.90	0.05	0.014	〃
(18)	0.20	2.00	0.05	0.024	床版05
			合計	0.169	

設置位置断面図 S=1:20

水切り詳細図(a部) S=1:1



【実施設計図面】

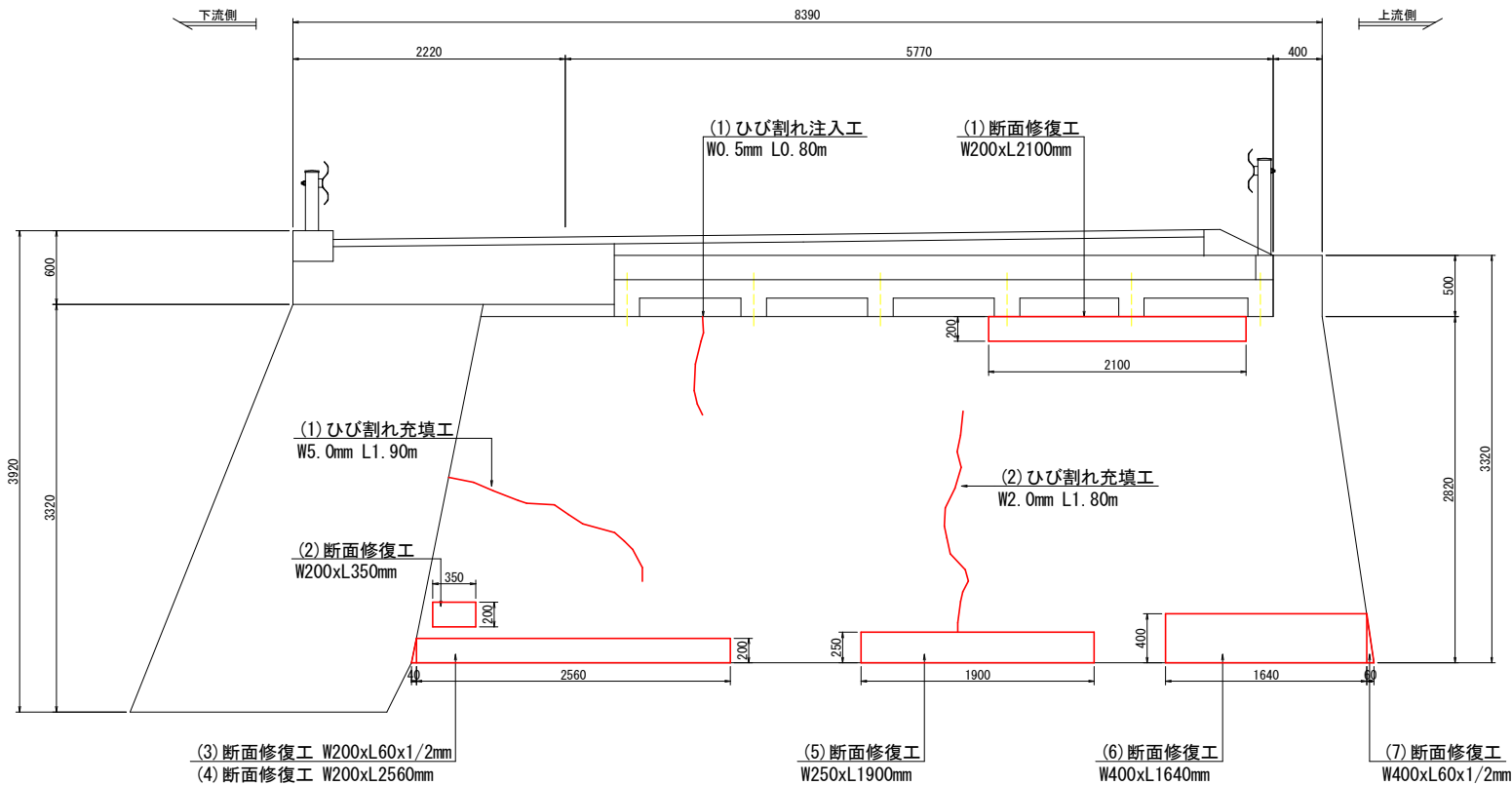
工事名	R 8 徳土 徳島上那賀線(南ノ内橋)		
路線名等	徳島上那賀線 徳・飯谷 橋梁修繕工事		
工事箇所	徳島市飯谷町(南ノ内橋)		
図面名	南ノ内橋(下り線) 補修工詳細図(2/5)		
縮尺	図示	図面番号	3 / 6
年度	令和8年度		
事業者名	徳島県土整備事務所		

南ノ内橋(下り線) 補修工詳細図(3/5)

下部工 補修図 S=1:30

A1橋台正面図

上流側側面図



A1橋台 断面修復工(左官工法)

番号	幅(m)	長さ(m)	厚さ(m)	数量(m3)	備考
(1)	0.20	2.10	0.03	0.013	縦壁
(2)	0.20	0.35	0.03	0.002	〃
(3)	0.20	0.06	0.03	0.001	縦壁※
(4)	0.20	2.56	0.03	0.015	縦壁
(5)	0.25	1.90	0.03	0.014	〃
(6)	0.40	1.64	0.03	0.020	〃
(7)	0.40	0.06	0.03	0.001	縦壁※
合計				0.066	

※は、A=幅x長さx1/2

A1橋台 ひび割れ補修工(低圧注入工法)

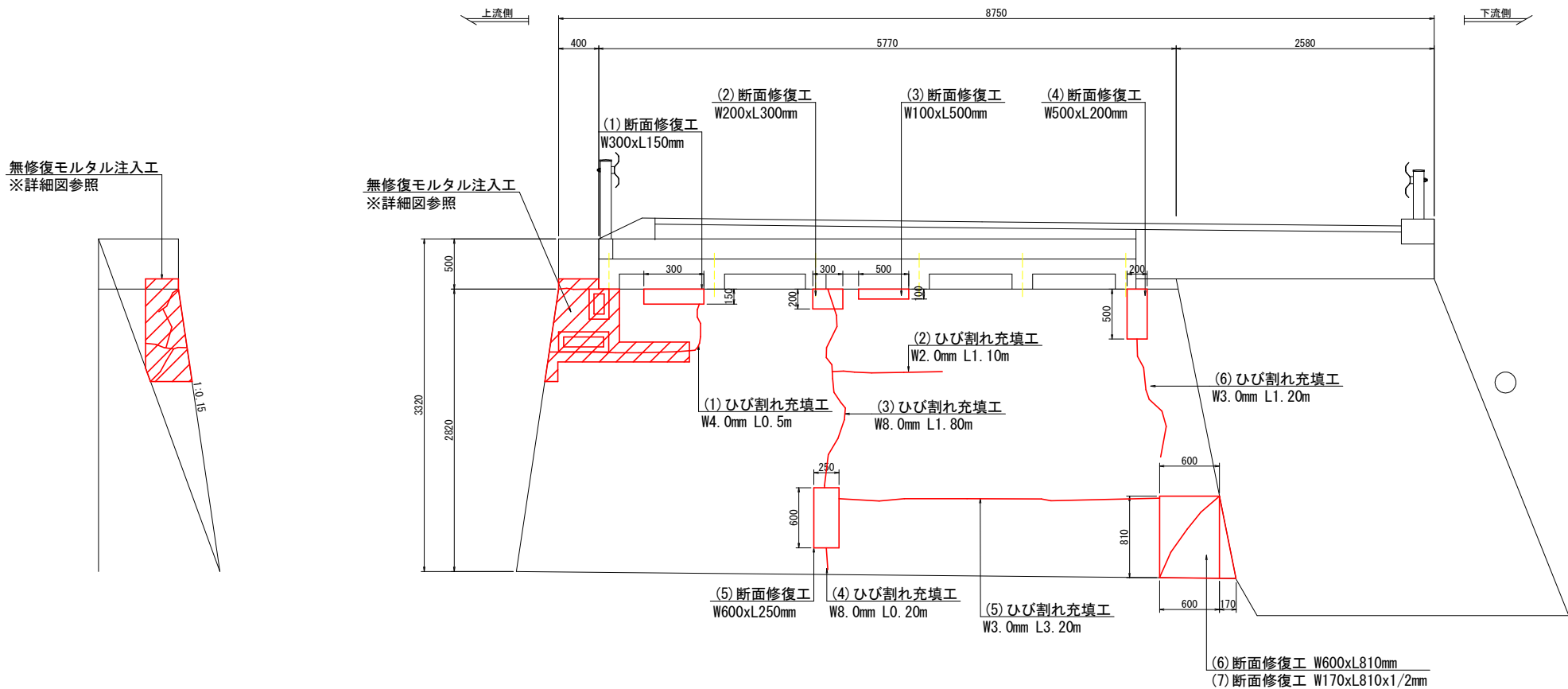
番号	幅(mm)	長さ(m)	深さ(m)	注入量(kg)	備考
(1)	0.50	0.80	0.05	0.024	縦壁
合計				0.024	

A1橋台 ひび割れ補修工(充てん工法)

番号	幅(mm)	長さ(m)	充填量(kg/m3)	備考
(1)	5.0	1.90	0.285	縦壁
(2)	2.0	1.80	0.270	〃
合計			0.555	

上流側側面図

A2橋台正面図 S=1:30



A2橋台 断面修復工(左官工法)

番号	幅(m)	長さ(m)	厚さ(m)	数量(m3)	備考
(1)	0.30	0.15	0.03	0.001	縦壁
(2)	0.20	0.30	0.03	0.002	〃
(3)	0.10	0.50	0.03	0.002	〃
(4)	0.50	0.20	0.03	0.003	〃
(5)	0.60	0.25	0.03	0.005	〃
(6)	0.60	0.81	0.03	0.015	〃
(7)	0.17	0.81	0.03	0.002	縦壁※
合計				0.030	

A2橋台 ひび割れ補修工(充てん工法)

番号	幅(mm)	長さ(m)	充填量(kg/m3)	備考
(1)	4.0	0.50	0.075	縦壁
(2)	2.0	1.10	0.165	〃
(3)	8.0	1.80	0.270	〃
(4)	8.0	0.20	0.030	〃
(5)	3.0	3.20	0.480	〃
(6)	3.0	1.20	0.180	〃
合計			1.200	

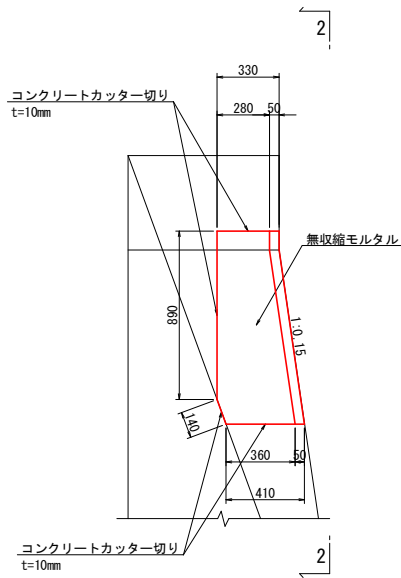
【実施設計図面】

工事名	R 8 徳土 徳島上那賀線(南ノ内橋)		
路線名等	徳・飯谷 橋梁修繕工事		
工事箇所	徳島市飯谷町(南ノ内橋)		
図面名	南ノ内橋(下り線) 補修工詳細図(3/5)		
縮尺	S=1:30	図面番号	4 / 6
年度	令和8年度		
事業者名	徳島県土整備事務所		

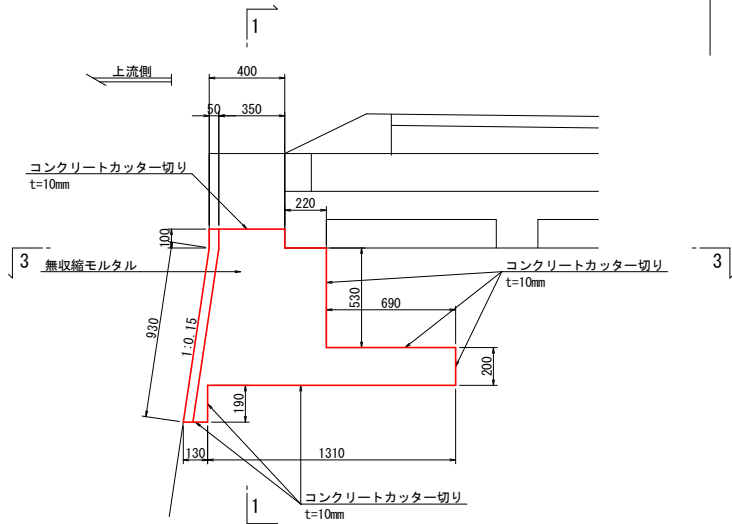
南ノ内橋(下り線) 補修工詳細図(4/5)

無修復モルタル注入工詳細図 S=1:20

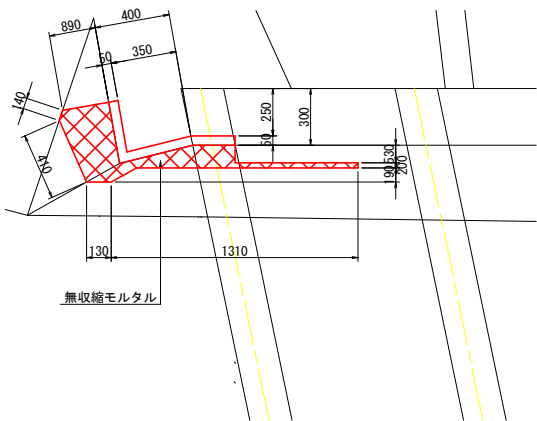
A2橋台上流側側面図(1-1)



A2橋台上流側正面図(2-2)

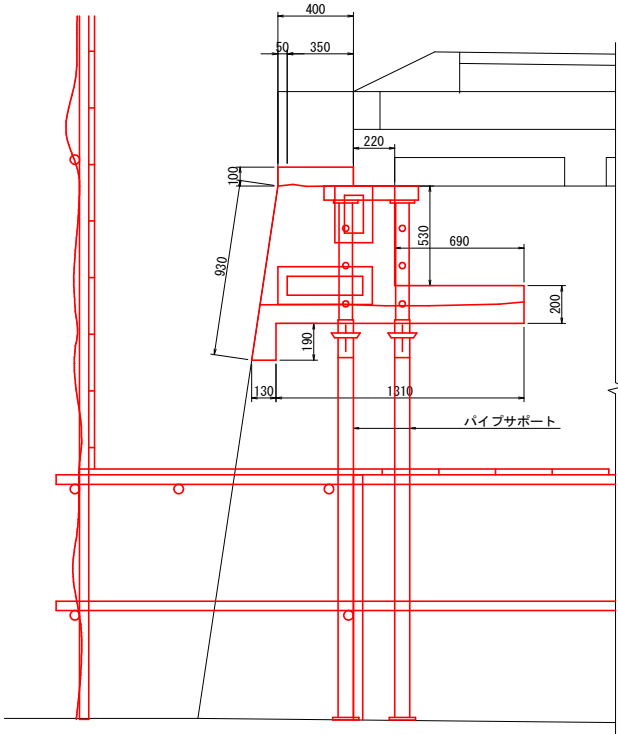
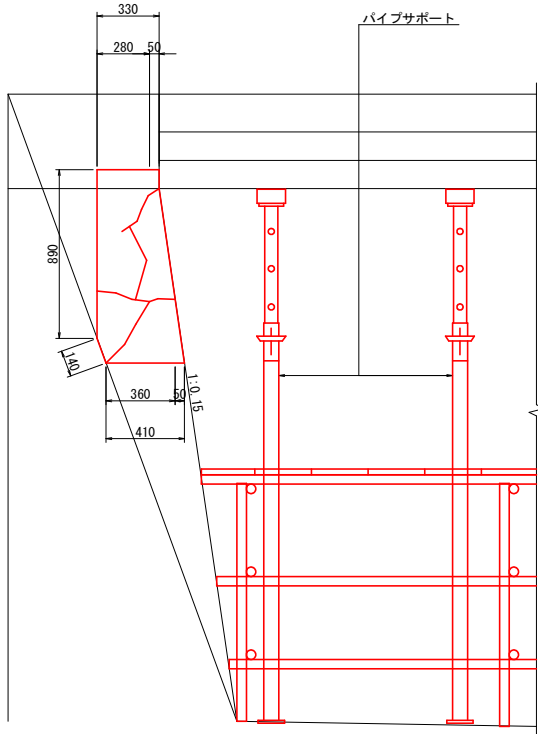


A2橋台上流側平面図(3-3)



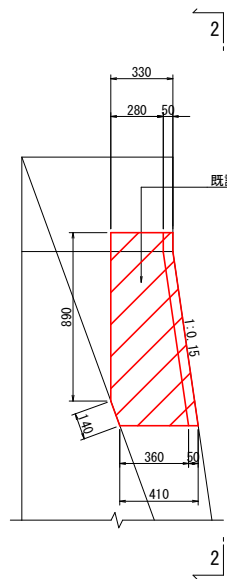
無修復モルタル注入工施工要領図(参考図) S=1:20

STEP.1: 仮設工(パイプサポート支保工)

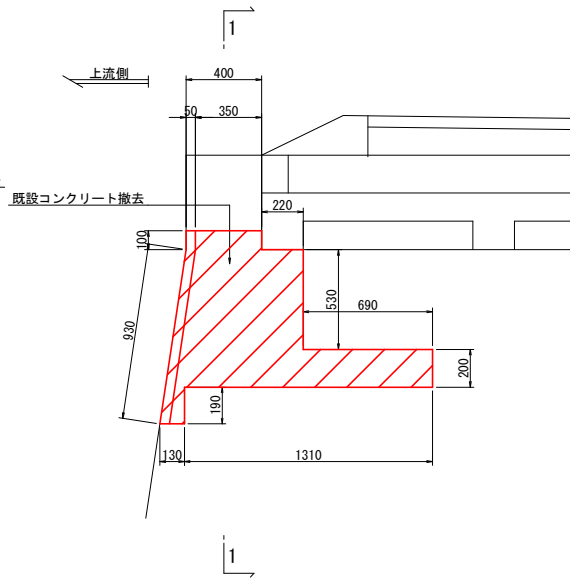


STEP.2: 既設コンクリート撤去

A2橋台上流側側面図(1-1)

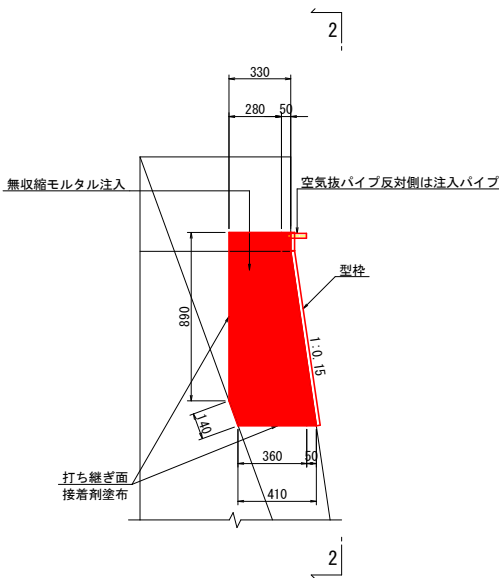


A2橋台上流側正面図(2-2)

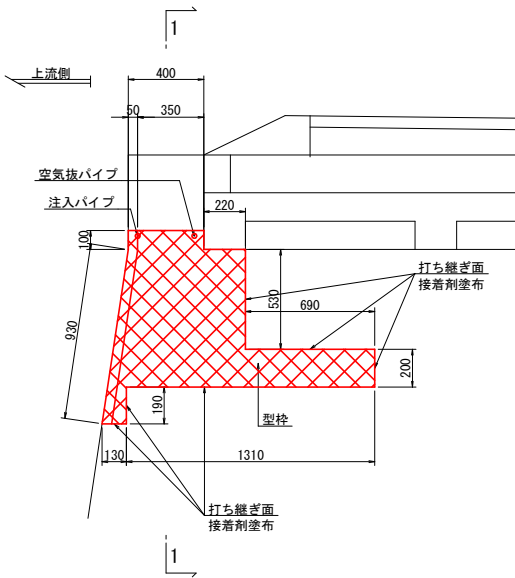


STEP.3: 型枠設置・無収縮モルタル注入

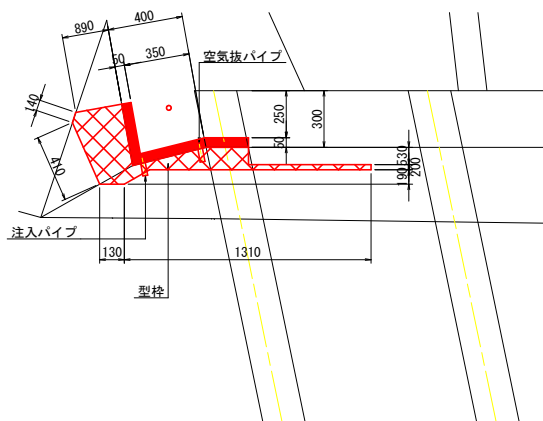
A2橋台上流側側面図(1-1)



A2橋台上流側正面図(2-2)



A2橋台上流側平面図(3-3)



- 注記)
1. 施工前に調査を実施し、施工範囲及び施工数量について協議を行うこと。
 2. 寸法は、現場実測後決定する。
 3. 注入孔、空気孔を適切な箇所に設置し、無収縮モルタルが均一に充填できるようにすること。
 4. モルタルの注入漏れが生じないように、型枠と躯体との隙間にシール処理を計画する等の配慮が必要である。
 5. 注入後は適切な養生方法・期間を設けた後に型枠を撤去すること。

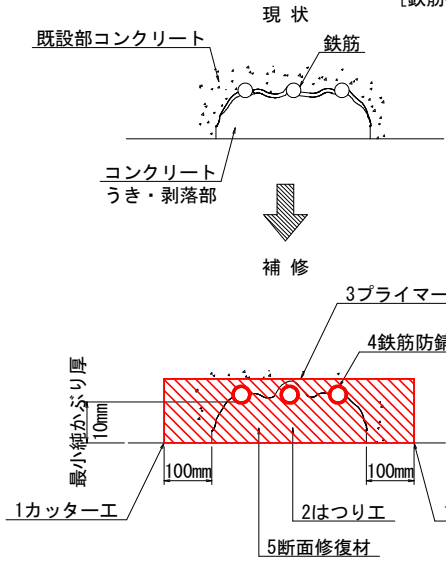
【実施設計図面】				
工事名	R 8 徳土 徳島上那賀線(南ノ内橋) 徳・飯谷 橋梁修繕工事			
路線名等	徳島上那賀線			
工事箇所	徳島市飯谷町(南ノ内橋)			
図面名	南ノ内橋(下り線) 補修工詳細図(4/5)			
縮尺	S=1:20	図面番号	5	6
年度	令和8年度			
事業者名	徳島県土整備事務所			

南ノ内橋(下り線) 補修工詳細図 (5/5)

補修要領図

断面修復工

〔鉄筋構造物：左官工法〕



断面修復材量Vは下式より算出する。

$$V=W \cdot L \cdot t \cdot 1.18$$

ここに、

V : 断面修復材量
W : 修復幅
L : 修復長
t : 修復厚
1.18 : ロス率

施工フロー図

コンクリートはつり

- ・はつり範囲にカッターを入れる。
- ・電動ピックを用いてコンクリート劣化部をはつり。

鉄筋ケレン

- ・ワイヤーブラシ等により鉄筋表面の錆を落とす。

鉄筋防錆処理

- ・ケレンした鉄筋表面に刷毛を用いて鉄筋防錆材を塗布する。

断面修復

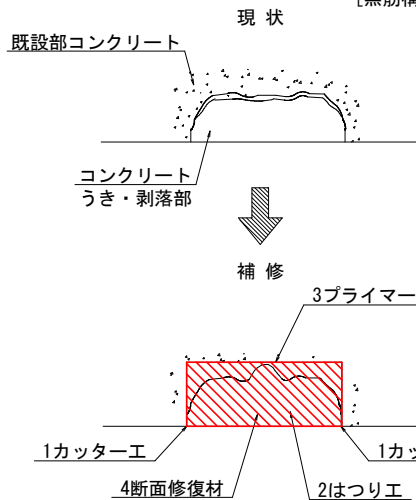
- 1) 亜硝酸リチウムを混合したポリマーセメントモルタルをコテ塗りし、当初の形状に戻す。
- 2) 1回の埋め戻し厚は、20～30mmを標準とし、下層モルタルが十分硬化したことを確認したうえで、次層のモルタルを塗り重ねる。
- 3) 露出させた鉄筋の背面側には、断面修復材が回りにくいように、特に入念に埋め戻す必要がある。
- 4) 断面修復厚さは、各部材で設定している。

注記)

1. 鉄筋構造物の断面修復材は、亜硝酸リチウムを混合したポリマーセメントモルタルを基本とする。ただし、施工性等から材料を変更する場合は協議を行い決定すること。
2. 修復厚さは、現橋調査結果より、純かぶり20mm+主鉄筋φ19⇒40mm に設定している。
3. 施工前に現地計測を行い、施工範囲及び施工数量について協議を行うこと。
4. 鉄筋構造物は鉄筋の裏側までのはつりを原則とする。ただし、鉄筋の腐食状況等を確認した上、はつり厚さを変更する場合は協議を行い決定すること。
5. 数量表は、ロス率を加味しない値を示す。

断面修復工

〔無筋構造物：左官工法〕



断面修復材量Vは下式より算出する。

$$V=W \cdot L \cdot t \cdot 1.18$$

ここに、

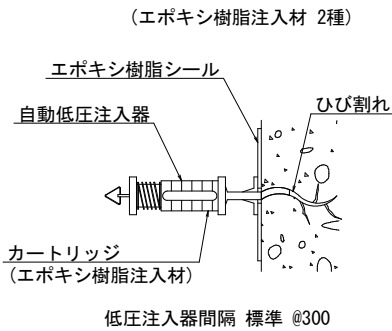
V : 断面修復材量
W : 修復幅
L : 修復長
t : 修復厚
1.18 : ロス率

注記)

1. 無筋構造物の断面修復材は、ポリマーセメントモルタルを基本とする。ただし、施工性等から材料を変更する場合は協議を行い決定すること。
2. 修復厚さは、現橋調査結果より、下部工:30mm に設定している。ただし、現地計測を行い適切な厚さを確保すること。
3. 施工前に現地計測を行い、施工範囲及び施工数量について協議を行うこと。
4. 数量表は、ロス率を加味しない値を示す。

ひび割れ補修工

〔低圧注入工法〕



注入量Vは下式より算出する。

$$V=1200 \cdot b \cdot h \cdot L \cdot 1.20$$

ここに、

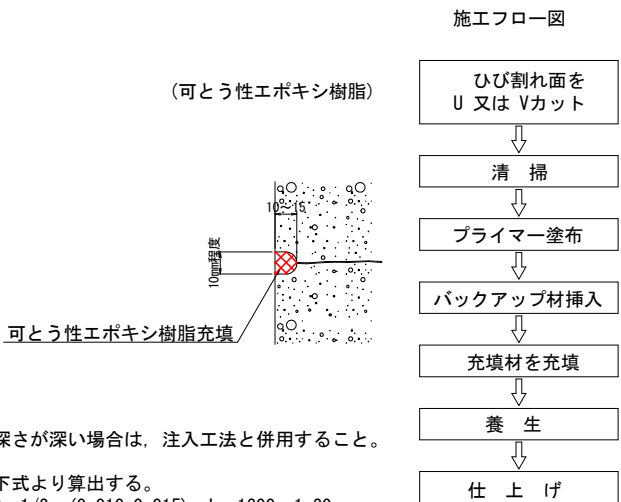
V : 注入量
1200 : エポキシ樹脂系注入材比重
b : ひび割れ幅
h : ひび割れ深さ
L : ひび割れ延長
1.20 : ロス率

注記)

1. 施工前に現地計測を行い、施工範囲及び施工数量について協議を行い決定すること。
2. 注入工法の注入材は、エポキシ樹脂注入材2種を基本とする。ただし、施工性等から材料、種別等を変更する場合は協議を行い決定すること。
3. 注入深さは、50mmに設定している。
4. 数量表は、ロス率を加味しない値を示す。

ひび割れ補修工

〔充てん工法〕



注記)

ひび割れ深さが深い場合は、注入工法と併用すること。

充填量は下式より算出する。

$$V=0.010 \cdot 1/2 \cdot (0.010+0.015) \cdot L \cdot 1200 \cdot 1.20$$

ここに、

V : 充填量
1200 : 可とう性エポキシ樹脂系充填材 比重 (kg/m3)
L : ひび割れ延長
1.20 : ロス率

注記)

1. 施工前に現地計測を行い、施工範囲及び施工数量について協議を行うこと。
2. 充填工法の充填材量は、可とう性エポキシ樹脂系充填材を標準としている。ただし、施工性等から材料を変更する場合は協議を行い決定すること。
3. 数量表は、ロス率を加味しない値を示す。

【実施設計図面】

工事名	R 8 徳土 徳島上那賀線 (南ノ内橋) 徳・飯谷 橋梁修繕工事		
路線名等	徳島上那賀線		
工事箇所	徳島市飯谷町 (南ノ内橋)		
図面名	南ノ内橋(下り線) 補修工詳細図 (5/5)		
縮尺	-	図面番号	6 / 6
年度	令和 8 年度		
事業者名	徳島県土整備事務所		